



けんさんと歩く

代田代沢 戦争の跡をめぐるツアーに参加して

6月18日、中里光夫事務所主催のツアーに行ってきました。10時に新代田駅に集合して、けんさんの説明を聞きながら代田連絡線跡に沿って世田谷代田駅、代田の丘の61号鉄塔（世田谷地域風景遺産）、円乗院、北沢川緑道で文学碑を見ながら北澤八幡神社で散会しました。

代田連絡線というのは1945年5月25日の山の手空襲で井の頭線が車両不足になったため、応急的に代田二丁目駅（現新代田駅）と世田谷中原駅（現世田谷代田駅）との間の6百数メートルに陸軍工兵隊の手により仮設線が建設され、6月下旬に完成した線路のことです。結局電車が走ることはなく、言われなければ、ほとんど痕跡はわかりません。高低差があり、間に橋脚があり、子どもの肝試しに使ったんだそうです。長く住んでますが、ちっとも知りませんでした。

世田谷代田駅近くには、帝国音楽学校があり（空襲で焼失）古関金子が通っていた縁で夫の古関裕而が世田谷代田に住んだのだそうです。NHKの“エール”になぜ世田谷代田がでてこないのか怒ってました。円乗院には焼け残った高野槇があり保存されています。私は円乗院で失礼したのですが、北澤八幡神社には1942年に建立した「大東亜戦勝記念」と刻まれた社号碑があり、「勝」の部分は消されています。

“けんさん”とはきむらけんさんで、地域研究者、郷土史家、作家、「北沢川文化遺産保存の会」主幹、下北沢の人と歴史・文化を研究している方です。下北沢文士町文化地図をいただきました。代田九条の会では以前、下馬・三宿などの戦跡をめぐる企画をしたのですが、こんな身近にも歴史はあるんだと、参加してよかったです。尚、21名の参加者で上川あや区議も参加されました。（代田4丁目・萱野 幸子）



1947年米軍撮影の航空写真

大軍拡に反対する声をあげ続けよう

7月15日付の朝日新聞「天声人語」。「1990年代の初め、湾岸戦争が終わったばかりのころだ。高知市に住む、ある男子高校生の投書が米国の新聞に載った。日本はなぜ、自衛隊を戦争に派遣しないのか。「日本には憲法9条があるからなのです」。そんなことを説明する内容だった」と書き始められています。そういえば、30年ほど前には、憲法9条に対する一般的な見方はそうだったな、と思い出しました。アメリカの湾岸戦争への自衛隊派遣要請は拒まれました。天声人語氏は、最後の段落で「日本の防衛費は急増し、専守防衛の原則も揺らいでいる。それなのに、先の国会での議論は、結論ありきで何とも薄っぺらくはなかったか。」

岸田政権の昨年からのやり方、一閣議決定で重要なことを決めてしまう、国会で議論するより先にアメリカに報告する一、など「結論ありき」で進められ、国会軽視は甚だしくなっています。国会での議論が「薄っぺらい」のではなく、議論を「避ける」・「させない」姿勢が目立ちます。そして数の力を背景に大軍拡を実行する法律を通してしまいました。新聞やテレビなどのマスコミの報道姿勢も、政府発表依存が進み、問題点の指摘や批判が弱くなってきています。

こうした中だからこそ、「薄っぺらい」と嘆くのではなく、今の岸田政権の進める道が、大軍拡に通じ、敵基地攻撃能力の保持など日本を再び戦争の道へと導いてしまう危険なものであることを指摘し続けなければなりません。また、暑い暑い夏がやってきました。広島・長崎への原爆投下から学ぶことは、世界から核兵器をなくすことだと思います。決して「核抑止力」に頼ることではないのです。

（代田2丁目・伊東 宏）

高麗博物館で

「関東大震災 100 年一隠蔽された朝鮮人虐殺」展を見てきました

都合の悪いことをなかったことにする歴史修正主義がはびこっている昨今このまま黙認してはいけな
いという思いでいたとき、上記の企画展を知り、足を運びました。関東大震災で朝鮮人が虐殺されたこと
は、教科書や報道でのわずかな知識しかありませんでした。

会場では当時の実態やそれまでの流れを詳しく、わかり易く図や表を使って展示されていました。なかで
も新しく発見された「関東大震災絵巻」には、官憲や自警団に罵口で刺し殺されている絵が各所にあり、そ
の時の状況の惨さがリアルに表されているように感じました。この絵巻は 30m あり会場には貼れないた
め、部分的にしか見られませんが、近々 DVD に編集されたものを常時見ることができるようになる
ということでした。

日本人の韓国人、朝鮮人に対する差別意識は日清戦争、日露戦争の頃から、国家により醸成されてきて、
関東大震災での悲惨な虐殺を生み、今のヘイトスピーチや小池都知事の追悼文拒否につながっているとい
うことが分かりました。学んだことをどう生かして共生社会をつくるのかが私たちに課された宿題なのだと思
いました。

展示のほかに「関東大震災から 100 年の今を問う」というテーマの講演会が数回にわたり逐次催されま
す。
(代田 5 丁目・日暮 恵子)

集 会 等 の 紹 介

*** 記事で紹介されている展示会を見に行きます。***

9月6日(水) 13:00 JR 山手線・新大久保駅 改札付近集合

2023年高麗博物館企画展

◆7月5日(水)～12月24日(日)

関東大震災100年

一隠蔽された朝鮮人虐殺

植民地歴史博物館(ソウル)との連携企画



渋谷「関東大震災絵巻」より 本邦初公開

1923年の関東大震災朝鮮人虐殺から1
00年。

虐殺の起きた背景には何があるのか、そし
て事実の隠蔽行為はなぜ今も続いているの
か。

高麗博物館は関東大震災朝鮮人虐殺をテー
マとした企画展を過去3回行い、資料の蓄
積があります。

さらに今回は、新たに発見された渋谷「
関東大震災絵巻」を本邦初公開します。

100年の記憶と歴史を継承するための多角
的な展示です。

高麗博物館は今回の企画展を通して、
いわれなく殺された人々を追悼すると同時
にご来場の皆さんと一緒に考える時間と空
間を提供したいと考えます。

日本国憲法(抜粋)

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武
力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++